

# 平成 21 年 12 月 記者懇談会

日時 平成 21 年 12 月 22 日 (火)  
午前 10 時 30 分  
場所 政策会議室

## 1 市長あいさつ

## 2 市政記者クラブからの質問事項

(幹事社 中日)

(1) 今年の 10 大ニュースをあげてください

(東日)

(2) 愛知新城大谷大学の現状 (引き受け先など)

(東日)

(3) 新年に取り組む重点施策・課題を分野ごとに説明してください

(東愛知)

## 3 市からの情報提供

(1) 財務諸表 (普通会計分) の公表について

(財政課)

(2) 公用車での廃食用油燃料 (バイオディーゼル燃料) の利用拡大について

(環境課)

## 4 市からの資料提供

(1) 新城市副市長就任式等について

(秘書室)

(2) 市民活動広報講座の開催について

(じょうほう課)

(3) 鳳来寺田楽について

(文化課)

## 5 行事予定表

順位	タイトル	備考
1	台風18号の被害	10月8日午前6時過ぎに愛知県縦断(7日午後8時災害対策本部設置) 倒木、家屋損壊、停電等の被害 市内停電復旧が遅れる
1	新城市長選挙・市議会議員選挙	新城市長選挙・市議会議員選挙 投票率(77.32%) 穂積市長(現職)が15,268票で再選 市議会議員定数削減後初選挙 27人の候補から18人が決まる(新人4人)
3	市民(若者)の活躍	<ul style="list-style-type: none"> <li>■8月愛知代表中京大中京高校が甲子園で優勝</li> <li>新城出身の2選手が大活躍</li> <li>千郷中出身河合選手</li> <li>作手中出身金山選手</li> <li>■8月新城中2年 白井夏純(かすみ)さん 全日本中学生水の作文コンクールで最優秀賞(国土交通大臣賞)受賞</li> <li>■12月舟着小6年 白井結花(ゆうか)さん 環境日記コンテストで2年連続「環境大臣賞」</li> </ul>
4	設楽ダム建設着工へ 調印式(2月5日)	
5	レジ袋有料化スタート(4月)	
6	3月定例会 CATVで中継はじまる(2月25日)	
7	市職員「地域担当制」スタート(4月)	
8	公用車に電気自動車(アイ・ミーブ)を導入(9月)	県内では岡崎に続く2例目
9	新城・川売 「にほんの里百選」に選ばれる(1月)	
10	新型インフルエンザ 市内で発生	5月8日 新型インフルエンザ対策本部設置 初会議

## 新 城 市

新城市は、平成17年の合併から、新たな新城市として一体化に向けた取り組みを進め、昨年(平成27年)の11月1日には、市長・市議選挙を経て第2期がスタートしました。

「市民がつなぐ山の湊創造都市」をめざすまちの将来像と定めた「第1次新城市総合計画」における基本計画、及び実施計画の前期最終年度にあたります。前期3年間を締めくくる年度であると同時に、この計画を軌道に乗せる重要な年でもあります。

総合計画に掲げたまちづくりを推進するため、引き続き4つの基本戦略を中心に重点プロジェクトを着実に実施します。

さらに第2期マニフェストに掲げた、新たに重点を置くべき施策についても、確実かつ迅速に実施してまいります。

行財政改革においても、厳しい財政状況を踏まえ、これまでも様々な取り組みを進めてきましたが、これまで以上に情報の提供や市民との対話により、市民満足度の向上を目指した事業を展開してまいります。

### 【平成22年度重点施策】

#### 1 子育て支援と幼児教育の充実

本市においても、未婚化・晩婚化などによる出生率の低下や、山間部における過疎化の進行による若者層の減少が、少子化の原因となっています。加えて共働き夫婦の増加や核家族化などにより、子どもを産み育てることに對する親の不安が増しています。

本市では、少子化対策に合わせた子育ての支援を「次世代人材育成」と位置付け、「子どもを育てる」ことを単に親の義務として捉えるのではなく、行政、地域社会、NPO、ボランティアなどが世代を超えて支援する体制づくりを進めます。また、保育園と幼稚園の一体化や、保育や就学前教育の望ましいあり方などにつき、市民の参加を得ながら検討を進め、子育て世代の方々が、安心して子どもを預けられるよう子育て支援と幼児教育の充実を図ります。

#### 2 地域医療体制の確立

市民の安心の要ともいえるべき地域医療体制の充実は、もはや地域中核病院に多くを頼ることでは解決できない時代となっています。患者の疾

病状況により初期医療、急性期医療、在宅治療など必要に応じた医療提供を、地域全体で支える地域医療体制の確立が求められています。

そのため、民間病院・診療所との連携を図りつつ、市民病院において従来備えていた機能を一日も早く回復させる努力を続けます。

### **3 産業と観光の振興**

現在、整備が進められている新東名高速道路や三遠南信自動車道路の開通は、本市の産業や観光に大きなインパクトを与えます。市内に計画されているインターチェンジ周辺の開発を計画的に進めることで、雇用環境・住環境を整備し産業の誘致を進めます。

さらに観光振興基本計画に基づく観光の振興を通し、交流人口の増加を目指します。

### **4 市民自治社会実現への取り組み**

第1次新城市総合計画では、まちづくりの基本理念を「新たな公共が導く、市民自治社会の実現」と定めています。市民自治を進めるためには、市民が地域自治組織を通じて、地域内の特性や課題を的確に捉え、問題解決やまちづくりのための取り組みを自発的に進める必要があります。このため、平成21年度からスタートした市職員の「地域担当制度」により、担当職員が地域に出向き、地域と行政のパイプ役として、行政情報の提供や問題解決のための提案を地域住民とともに進めます。また、地域自治組織が自らのまちづくりの方向や将来像を定めた「地域計画」の策定を支援します。

### **5 広域連携・新城設楽山村振興事務所との連携の推進**

東三河は水源地域となる奥三河地域と、豊川下流域の平野部とが、物流及び人的交流を通し、歴史的、また地理的にも深いつながりを維持してきました。現在では高速道路の建設や道州制議論の盛り上がりの中で、ますます連携の必要性が高まっています。

山間地域と都市部との両面を持つ本市の役割を認識しつつ、愛知県、関係市町村と連携した取り組みを進めてまいります。

# 報道機関発表資料

(新城市)

提出日	21年12月22日	
担当課・室名	財政課	
担当者職・氏名	課長	老平 千昌
連絡先(電話)	0536-23-7616	
連絡先(FAX)	0536-23-8388	

件名 財務諸表(普通会計分)の公表について

## 内容

### 新地方公会計制度の概要

- 平成18年6月「行政改革推進法」の成立を契機に、地方公共団体も資産・債務改革の一環として、「新地方公会計制度の整備」が位置付けられた。
- 平成18年8月「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」(総務事務次官通知)において、国の作成基準に準拠し、発生主義の活用及び複式簿記の考え方の導入を図り、一般会計だけでなく、地方公営企業や第三セクターなどの関連団体を含む連結ベースで財務諸表の整備に取り組むことを要請された。

### 公会計モデルの種類

基準モデル: 発生主義と複式簿記の考え方を導入、公有財産台帳は開始当初より整備

総務省方式改訂モデル: 決算統計の数値を活用、公有財産台帳の整備と複式簿記の導入は段階的に整備

### 他市の状況

県内では、14市が財務諸表を作成し、議会やホームページにて公表しています。なお、東三5市では、豊橋市が「総務省方式改訂モデル」により、平成21年9月に公表しています。

### 本市の取組

- ・ 本市が所有する全ての資産と負債が把握できる「基準モデル」を採用。
- ・ 平成20年度決算に基づく財務4表(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)を作成。
- ・ 今般、普通会計(一般会計と地域下水道会計)について作成し公表します。
- ・ 連結財務諸表については、連結対象である特別会計と、一部事務組合、広域連合、土地開発公社等の外部団体の財務諸表が揃うのを待って作成し、公表します。
- ・ 今後も、この財務諸表を毎年作成し、経年的に財政分析するツールとします。

詳細については、裏面のとおりです。

# 報道機関発表資料

平成18年に「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」いわゆる行革推進法が成立し、行革の一つとして各地方公共団体は資産及び債務の把握管理体制を整備することになりました。また、これと関係して政府は、地方公共団体に対し、企業会計の慣行を参考とした貸借対照表その他財務書類いわゆる「財務諸表」の整備を要請しています。

今般、本市の財務のうち、普通会計(一般会計と地域下水道会計)分について、財務諸表を作成しました。今後、連結対象である特別会計と一部事務組合、広域連合、土地開発公社等の外部団体の財務諸表が揃うのを待って、新都市の連結財務諸表を作成していきます。

なお、本市の財務諸表は、総務省が公表した「新地方公会計制度研究会報告書」の「地方公共団体財務書類作成にかかる基準モデル」を採用し、「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「資金収支計算書」、「純資産変動計算書」の4表を作成しています。

今回の財務諸表の作成基準日は、前年度の会計年度最終日である平成21年3月31日としました。平成21年4月1日から平成21年5月31日までの出納整理期間の収支については、基準日まで終了したものと取り入れています。なお、財務諸表は、今後、毎年作成していきます。

貸借対照表は、市が保有する公共施設やインフラ資産などの「資産」に対して、地方債や退職手当引当金などの将来返済しなければならない「負債」や返済を要しない「純資産」に関するストックの情報を総括的に表したものです。本市では、資産が1,381億円、負債が314億円、資産から負債を引いた純資産が1,067億円となりましたが、純資産には、道路、橋梁等換金できないインフラ資産相当分838億円が含まれており、これを除いた状態では、229億円のプラスとなっています。

行政コスト計算書は、1年間の行政サービス(資産形成に係るものを除く)に要したコストと、その財源の対応をフロー情報として表したものです。本市では、経常費用合計(総行政コスト)が158億円、経常収益合計(使用料等)が10億円で純経常費用(純行政コスト)はマイナス148億円となりました。この収支差額は、税、交付税等で賄われています。

純資産変動計算書は、貸借対照表の「純資産の部」の1年間の変動を財源の受入状況や振替の状況を細かく表したものです。本市では、税収91億円、移転収入92億円等総額217億円の財源を調達しており、これを基に純経常費用148億円、固定資産形成26億円、長期金融資産形成4億円等総額199億円の財源を使っています。純資産変動額はプラス14億円であり、当年において将来世代の負担がこれだけ減少したといえます。しかし、減価償却・直接資本消耗相当額といえる開始未分析残高の減少額より資産形成充当財源増加額の方が小さいことから、設備の更新が順調ではなく、今後、設備の更新が大きな課題となっています。

資金収支計算書は、1年間の歳計現金の出入りを「経常的収支」、「資本的収支」、「財務的収支」の3つに区分して収支を表したものです。本市では、経常収支プラス39億円、資本的収支マイナス29億円で基礎的財政収支はプラス10億円となっています。一方、財務的収支はマイナス10億円となりました。なお、財務的収支のマイナス分は、借入れる額より返済する額が上回っており、負債が減少していることを意味します。

なお、普通財産について土地の個別評価は外部委託しましたが、財務諸表については、職員で作成しています。今後、複式仕訳、評価手法等の変更によっては、財務諸表の内容を変更させていただく場合があります。

# 報道機関発表資料

(新城市)

提出日	平成21年12月22日	
担当課・室	環境課	
担当職・氏名	課長	森田義美
連絡先(電話)	(0536) 23-7677	
連絡先(FAX)	(0536) 23-8388	

件名	公用車での廃食用油燃料(バイオディーゼル燃料)の利用拡大について
----	----------------------------------

## 内容

地球温暖化の防止と石油燃料に変わるバイオエネルギー利用、及び燃料経費削減の観点から本市が進めてきた廃食用油燃料(バイオディーゼル燃料)使用車両を3台増車し、公用車での利用拡大を図るものです。

バイオディーゼル燃料は、植物油等のバイオマスを原料として製造されることから京都議定書に基づくカーボンニュートラルの考え方により、バイオ燃料の燃焼によって排出された二酸化炭素は温室ガス排出量として計上されないため二酸化炭素の削減や、廃棄物抑制、地域で発生する廃食用油の資源循環や水質保全などの効果が期待されている燃料です。

### 1 バイオディーゼル燃料車等

#### (1) 現在のBDF使用車両

- ・廃棄物収集用トラック(2t)
- ・平成20年11月からB100を使用し、21年11月末までに25780(月平均1980)を消費している。

#### (2) 新規にBDFとする増車車両

- ・一般資材運搬トラック(1.5t積)(市民安全対策室所管)
- ・廃棄物収集クレーン車(2.7t積)(生活衛生課所管)
- ・土木作業用ダンプトラック(2t積)(土木課所管)

### 2 バイオディーゼル燃料車への移行

交換日時:平成22年1月21日(木)

交換作業:10時からマルセ石油給油所(石田字西末旨)において交換実施

### 3 CO2削減効果

増車3車両分について、平成20年10月から平成21年9月までの1年間の軽油燃料使用量を基に算定したところ、年間約15.6ton-CO2の排出量削減が見込まれる。

### 4 購入及び経費節減効果

- ・バイオディーゼル燃料は市内石油店1社と単価契約し、購入している。  
\*市契約単価 バイオディーゼル燃料 95円/ℓ(軽油単価108円/ℓ)
- ・経費節減効果(3台分)は、年間7万8千円程度と見込まれる。

# 報道機関発表資料

(参考)

## ※ 廃食用油回収の状況（民間業者が回収）

契約店舗等数 98か所（延243回）

年間回収量（20.10～21.9） 10,962.0リットル

1店舗1回当たりの平均回収量 45.1リットル

## ※ BDF利用のフロー

廃食用油を市内飲食店・旅館・民宿・ゴルフ場・商店など98か所から回収

- ・ 一般家庭、学校等市施設における廃食用油は対象外。

↓

回収代理店（マルセ石油） 有料回収（50円／100）

↓

精製（株ペトロ21）

↓ 配送

販売代理店（マルセ石油）

- ・ マルセ石油内のBDF100専用の貯蔵タンクに納品する。

↓

市との単価契約（95円／ℓ）

↓

給油所で市指定車両に給油

## ※ 県下のBDF燃料取組み市町（平成21年10月末現在）

(19市)

名古屋市、豊橋市、一宮市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、刈谷市、豊田市  
安城市、犬山市、江南市、小牧市、新城市、知多市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市

(4町)

大口町、一色町、幸田町、東栄町

# 報道機関発表資料

(新城市)

提出日	21 年 12 月 22 日	
担当課・室・グループ名	企画部企画課秘書室	
担当者職・氏名	室長	夏目保夫
連絡先(電話)	0536	23-7618
連絡先(FAX)	0536	23-7296
連絡先(Eメール)		

件名 新城市副市長就任式等について

内容 矢野浩二 新城市副市長就任式及び記者会見を下記のとおり行います。

記

期日 平成22年1月4日(月)

・9時30分 仕事始め式と副市長就任式(課長職以上の職員出席)

場所: 勤労青少年ホーム(軽運動場)

・10時25分から10時50分まで 副市長就任会見

場所: 市役所:政策会議室

# 報道機関発表資料

(新城市)

提出日	平成21年 12月 22日	
担当課・室	じょうほう課	
担当職・氏名	課長	原田哲夫
連絡先(電話)	(0536) 23-7623	
連絡先(FAX)	(0536) 23-7296	

件名	市民活動広報講座の開催について
----	-----------------

## 内容

～きらりと光る チラシづくりの極意を学びませんか～

みんなでイベントをやろうと思うけど、どうやって知らせたらいいのか分からない。

チラシを作って配れば、人は来てくれるのかな？

でも、どんなチラシが効果的なのかな？

何かいい方法があるのかな？

そんな悩みをお持ちの方を対象に講座を開催します。

■日時 1月30日(土) 午後1時30分～午後4時30分

■場所 新城市民体育館第1会議室

■講師 特定非営利活動法人 ボラみみより情報局 織田元樹 氏

■講座内容(予定)

13:30～14:30 チラシの作り方の基礎講座

14:30～16:30 模造紙を使って、手書きのチラシを作るワークショップ

■対象 市内で活動を行う市民活動団体の会員で、イベントや会員増員のためにチラシを作成する機会のある方

■定員 20名(多数の場合は抽選)

■締切り 1月15日(金)

■申し込み 市民活動団体名、住所、氏名、年齢、連絡先(電話)をじょうほう課までご連絡ください。

■問合せ じょうほう課・しんしろ市民活動サポートセンター運営委員会

電話 0536-23-7623

FAX 0536-23-7296

E-mail joho@city.shinshiro.lg.jp

# 報道機関発表資料

(新城市)

提出日	平成21年12月22日	
担当課・室	文化課	
担当職・氏名	課長	村田道博
連絡先(電話)	(0536) 23-7655	
連絡先(FAX)	(0536) 23-8388	

件名	鳳来寺田楽について
----	-----------

## 内容

日時 平成22年1月3日(日) 午前10時～午後3時

場所 鳳来寺本堂前(田楽堂)

### 演目内容

お神酒いただき、九度、かんばやし、松竹はやし、国づくし、五番の舞、万才楽、鶯の舞、仏の舞など二八番

- ・国指定重要無形民俗文化財 (昭和53年5月22日指定)

当日のお問い合わせ 鳳来総合支所 日直 電話32-0511
-------------------------------------

平成22年1月

## 新 城 市 長 日 程 予 定 表

新 城 市

作成現在日：平成21年12月22日

日	曜日	時 間	行 事	場 所		
1	金					
2	土					
3	日					
4	月	8 : 25	仕事始め式(市民病院)	新城市	新城市民病院	講義室
		8 : 45	仕事始め式(消防)	〃	消防防災センター	講堂
		9 : 10	辞令交付式(副市長)	〃	市役所本庁舎	市長室
		9 : 30	仕事始め式・副市長就任式(市役所課長職以上)	〃	勤労青少年ホーム	軽運動場
		10 : 00	議会新年交礼会	〃	市役所東庁舎	議場
		11 : 00	部長会議	〃	市役所本庁舎	政策会議室
5	火	17 : 00	新城・鳳来・作手商工会新春懇談会	新城市	新城観光ホテル	
6	水	10 : 00	新城市観光協会理事会	新城市	市民体育館	第1会議室
		15 : 00	新春地域農政懇談会	〃	新城観光ホテル	
7	木	10 : 00	新城警察署感謝状贈呈式	新城市	文化会館	小ホール
		15 : 00	東三河懇話会「東三河5市長・2郡町村会長を囲む新春懇談会」	豊橋市	ホテルアークリッシュ豊橋	
8	金		在庁	新城市	市役所	
9	土					
10	日	9 : 00	消防出初式	新城市	桜淵いこいの広場	
		13 : 30	新城市成人式	〃	文化会館	大ホール
11	月					
12	火	9 : 00	鳳来総合支所会議	新城市	鳳来総合庁舎	第2会議室
		17 : 30	県・市新春懇談会	名古屋市	アイリス愛知	
13	水	9 : 00	作手総合支所会議	新城市	作手総合庁舎	
		13 : 30	新城まちづくりネットとの懇談会	〃	文化会館	304会議室
14	木	10 : 00	新城市特別職報酬等審議会	新城市	市役所本庁舎	政策会議室
		13 : 00	愛知県農業共済組合連合会理事会	名古屋市	愛知県農業共済組合連合会	
15	金	15 : 00	代表区長会	新城市	市役所本庁舎	政策会議室
16	土	10 : 00	「あんきに老後を迎えるまちづくりプロジェクト」シンポジウム	新城市	文化会館	大会議室
		16 : 20	新城青年会議所定時総会・新春賀詞交歓会	〃	愛知県民の森	
17	日	9 : 10	第34回新城マラソン大会(10:00スタート)	新城市	県営新城総合公園	陸上競技場
		13 : 30	集落営農講演会	〃	文化会館	小ホール
18	月	9 : 00	当初予算査定	新城市	市役所本庁舎	政策会議室
		13 : 30	市政経営会議	〃	〃	市長室
19	火	9 : 00	当初予算査定	新城市	市役所本庁舎	政策会議室
20	水	9 : 00	当初予算査定	新城市	市役所本庁舎	政策会議室
21	木	9 : 00	当初予算査定	新城市	市役所本庁舎	政策会議室
22	金	9 : 00	当初予算査定	新城市	市役所本庁舎	政策会議室
23	土	13 : 30	市民環境講座	新城市	勤労青少年ホーム	軽運動場
24	日	10 : 00	小坂井町閉町式	小坂井町	フロイデンホール	
25	月	9 : 00	部長会議	新城市	市役所本庁舎	政策会議室
26	火	10 : 00	新城市職員地震防災図上訓練	新城市	消防防災センター	
27	水	9 : 00	議員への定例報告会	新城市	市役所東庁舎	委員会室
		10 : 30	記者懇談会	〃	市役所本庁舎	政策会議室
		15 : 00	全国市長会経済委員会	東京都	全国都市会館	
28	木	15 : 00	第3回 B&G全国サミット	東京都	笹川記念館	
		11 : 00	新城市企業誘致説明会	浜松市	オークラクトシティホテル浜松	
29	金	15 : 00	東三河商工会議所商工会正副会頭会長会議	豊橋市	ホテルアソシア豊橋	
30	土					
31	日					